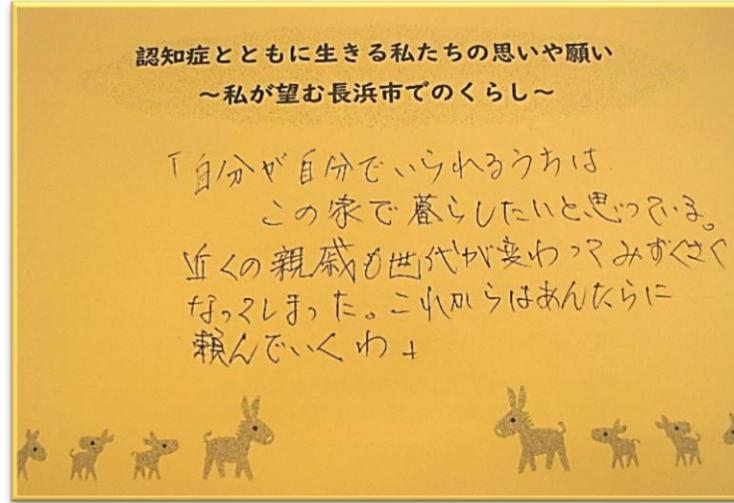


メッセージカードにつづられた 認知症のある人とその家族の想いをお届けします

令和5年7～9月に
募集しました

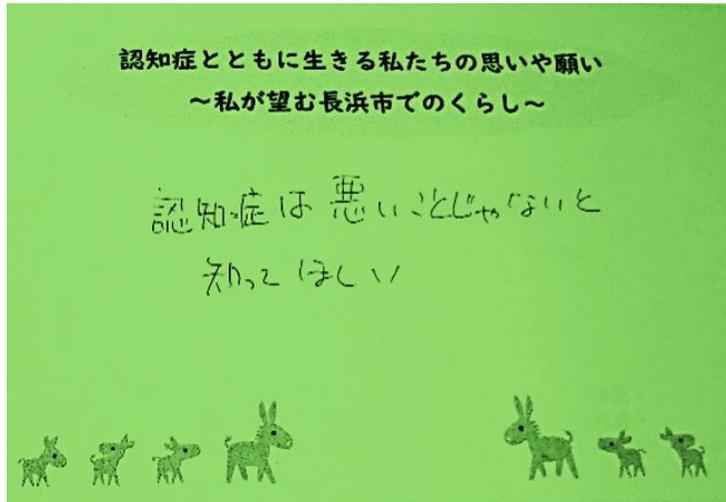


「声をかけてほしい、やさしくしてほしい」「自宅での生活を続けたい」「自分で買物したい、外出したい」



- 困ったときがあるとイライラしたり不穏になります。声かけてください。
- 体の元気なあいだは一人でなるべく生活して行きたいです。時々、グループなので皆さんと話したり交わりたいと思います。
- 地域包括支援センターの人たちからの相談、支援をしてもらい助けてもらっています。認知症とわかった時は何をしたいか、やる気をおこさせる気持ちもわからないと思いますが、それに負けず、もっと先のことを考えて、いっしょけんめいやって行かれたらいいと思いました！
- 気持ちは今でも何でもあたり前の事があたり前に出来そうに思うが…それが出来ません…その事をうまく言葉にする事や伝える事が出来なくなりました。それを理解して欲しいです。
- 自分のことは自分でしたい。買い物にこれからも行きたい。

「地域の人に認知症について知ってほしい、見守ってほしい」「日曜日や夜間に利用できるサービス、オムツの支援、医療機関の支援がほしい」「相談できる人がほしい、悩みを聞いてほしい」



- 沢山沢山話しかけてあげて下さい。関わりで認知症のある方の生活は豊かになります。
- 認知症の種類、症状をもっとたくさんの人に知ってもらうことが必要だと思います。
- 「心のゆとり」が必要であり、それらは、母にかかわってくださる福祉、医療関係の皆様からのご支援により得られることができた心から感謝申し上げます。
- 少しでも長くお泊りが利用して心の休憩がほしいです。
- 認知症の母と待合室で長時間まつ事はとても大変です。院内どこにいても呼び出しコールブザーのようなシステムで対応してもらえると助かります。
- 楽しみ目的なバスやタクシーがあれば、元気になれる方も増えると思います。
- セルフレジが多くなってきました。認知症があっても、安心してひとりでお買い物ができるといいですね。
- ケアマネに相談できるのでよかった。これからもきいてほしい。